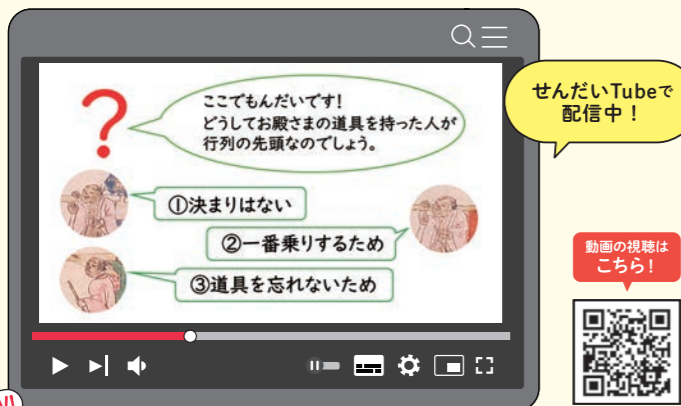


おうちで楽しむ仙台市博

仙台市博物館では、休館中に自宅でも博物館の資料を楽しめる動画を作成し、ぜひ Tube(仙台市公式動画チャンネル)を通じて情報発信を行っています。



NEW!

「のぞいてみよう参勤交代—仙台藩 お殿さまの旅 第2弾—」

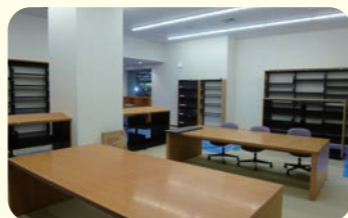
仙台藩 13 代藩主・伊達慶邦(楽山公)の大名行列を描いた「楽山公行列図巻」を読み解く動画の第2弾です。今回は絵巻物に描かれている人々や道具に焦点を当て、クイズも交えながら仙台藩の参勤交代について学びます。

現在の改修工事のようす

当館の大規模改修工事は順調に進み、完成に近づいています。

照明や舞台装置を改修したホールでは、床面と椅子の座面の貼り替えが終了し、装いが新たにになりました。また、情報資料センターでも、壁紙と絨毯を貼り替え、LED 照明と相まって室内が明るい印象となりました。この後、図書の配架を行っていきます。

9月頃には、空調機が全て稼働し、ようやく館内の環境を全体的に確認し、調整できるようになります。再開館に向けて様々な準備が残っていますが、令和6年4月に皆様をお迎えできるよう、一つ一つ進めています。



▲改修工事後の情報資料センター

Event Information

歴ネットイベント

「歴ネットクイズラリー」

期間 10月7日(土)～12月27日(水)

会場

(歴ネット施設)

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設、瑞鳳殿、仙台市戦災復興記念館、仙台市縄文の森広場、仙台市歴史民俗資料館、仙台文学館、仙台城見聞館、地底の森ミュージアム ※仙台市博物館は休館中

問 歴ネット事務局(仙台市博物館) ☎ 022-225-3074

歴ネット各施設のクイズに答えてスタンプを集めるクイズラリーに参加してみませんか?全ての施設を巡れば“仙台通”になること間違いなしです!

歴ネットとは?

仙台市内にある歴史・文化系ミュージアム9館がつながり活動する「仙台歴史ミュージアムネットワーク」の略称です。

仙台市博物館×東北工業大学一番町ロビー

第14回まちなか博物館講座「仙台城下の町屋と町並み—過去・現在・未来—」

仙台城下を描いた絵図や周辺に現存する町屋について、歴史学と建築学の視点から紹介します。

【日時】 10月28日(土)13:30～15:15(開場13:00)

【会場】 東北工業大学一番町ロビー 2階ホール

【定員】 ①対面:50人(応募多数の場合は抽選)

②オンラインZoom:300人(先着)

【講師】 中村琢巳氏(東北工業大学建築学部建築学科准教授) 水野沙織(当館学芸普及室長)

【申込】 ①10月6日(金)まで(当日消印有効)

②9月6日(水)13:00～10月25日(水)まで

①往復はがきに、講座タイトル・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、下記あて先までお申し込みください(1通につき1人まで)。

②下記URL入カフォーム、または二次元コードからお申し込みください。追って、参加用ZoomURLとID、パスワードをメールでお送りします。

<あて先> (対面)〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1(TMビル) 東北工業大学一番町ロビー (オンライン)https://forms.office.com/r/UeYkiSC0fW

問 東北工業大学一番町ロビー ☎ 022-723-0538

※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

オンラインお申し込み

申込制
聴講無料



休館中の

仙台市博物館 だより

HAKUBUTSUKAN DAYORI

vol. 210
2023.9月
2023.11月



ごきげんいかが。私は土偶。
私のスタイル、全身を見て。

顔はもちろん、どっしりとした下半身、体の模様も素敵でしょ。

今は仙台市博物館で皆さんに見てもらうのがお仕事。
出身は蔵王町鍛冶沢、歳は縄文時代晩期生まれの2400から3000歳。

チャーミングポイントは頭の突起かな。
かわいいニックネームがほしいな☆



表紙の資料
鍛冶沢遺跡出土 土偶
仙台市博物館蔵
(大きさ:縦16.5cm×横9.9cm)



仙台市博物館

〒980-0862 仙台市青葉区川内2-6 <仙台城三の丸跡>



仙台市博物館 イベントの開催など最新の情報をホームページでお知らせしています。

TEL 022-225-3074

FAX 022-225-2558

8:30～17:15 ※土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く
※感染拡大状況等により、イベントが中止等になる場合があります。
※再生紙を使用しています。この印刷物はリサイクルできます。



歴史と文化を未来につなぐ
— 観る、知る、楽しむ。学んで、考える博物館 —

SENDAI CITY MUSEUM

資料をみる目

いろいろ

歴史 × 美術 × 子ども

東東洋筆 虎図

仙台市博物館の代表的な収蔵品のひとつで、
仙台四大画家の一人、東東洋が描いた「虎図」について紹介します。



仙台四大画家とは…
江戸時代後期に活躍した仙台地方出身の画家、東東洋・小池曲江・菅井梅関・菊田伊洲のことを指します。
(大きさ:縦60.4cm×横97.4cm)



まーくんが学芸員と絵について話しているよ!

この絵に描かれている動物は何だと思いませんか?



うーん…虎のように見えるけど、顔は猫やヒョウのようにも見えるね。

これは、江戸時代に活躍した画家の東東洋という人が描いた「虎」の絵なんです。



そうなんだ。でもぼくが知っている強そうな虎とは何か雰囲気が違うなあ。どうしてだろう?

美術の目

たしかに、全体的に丸っこくて、かわいらしい感じもしますね。実は江戸時代の日本では、生きた虎を見ることができた人はほとんどいませんでした。雰囲気が違うように感じたのは、東洋が本物の虎を見て描いていないからかもしれません。

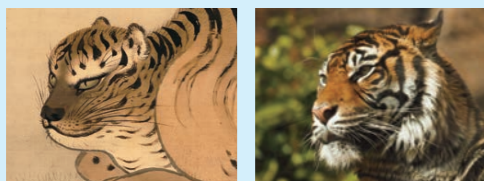


東洋はどうやって見たことのない虎を描くことができたのかな?

歴史の目

中国の人が描いた虎の絵や猫を参考にしたり、日本に輸入された虎の毛皮などを観察したりして描いたかもしれません。

今度は、絵の虎と本物の虎の顔を見比べてみましょう。



絵の虎の顔は、目や毛の色は本物そっくりだけど、ひげや鼻の色、毛の生え方は違うね。

そうですね。東洋はいろいろな情報をもとに、想像をふくらませて、工夫しながら描いたんでしょうね。今度は、体の方も見てみましょう。



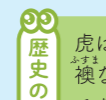
みてみて!しっぽの模様も本物そっくり。あれ!?しっぽの近くに描かれている緑色の植物は、なんだろう?



これは「ふき」と「ふきのとう」ですね。虎の姿と同じように丸みを意識して描いています。さて、東洋は、石越(宮城県登米市)で生まれ、19歳の頃には、京都へ出て絵を学びました。やがて、穏やかで時にユーモアあふれる独自の作風を身に付けました。鹿などの動物の絵も多く描いています。この絵の虎も、一見すると日向ぼっこをしている猫のようにも見えて、東洋の穏やかな作風がよく表れている作品だと思います。



他にも虎を描いた絵があるのかな?どんな虎の絵があるのか見てみたいな。



虎は強さや勇ましさをあらわす動物として、武将にも好まれ、城の襖などにも描かれました。強そうな虎、かわいらしい虎などいろいろな虎の絵を比べてみるのもおもしろいですね。

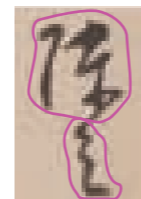
仙台市博物館には、東東洋と同じ時代に活躍した画家たちが描いた「虎」の絵が、いくつもあります。再開館したら、ぜひ見に来てくださいね。

※写真はスマートラトラ(八木山動物公園で撮影)

古文書ワンフレーズ

本題に入る

手紙の差出人の名前「東齋」は、仙台四大画家の一人、菅井梅関の別号です。手紙の内容から大坂(大阪府)にいたことがわかるため、書いた年代は文政5年から同12年(1822~1829)の間と推定されます。宛先の桜田澹齋は仙台藩の儒学者で、梅関とは長く交流がありました。梅関は澹齋の絵画収集の仲介・代理もしているようで、この手紙でも梅関の目に叶ったものだけを入手しているようすがわかります。



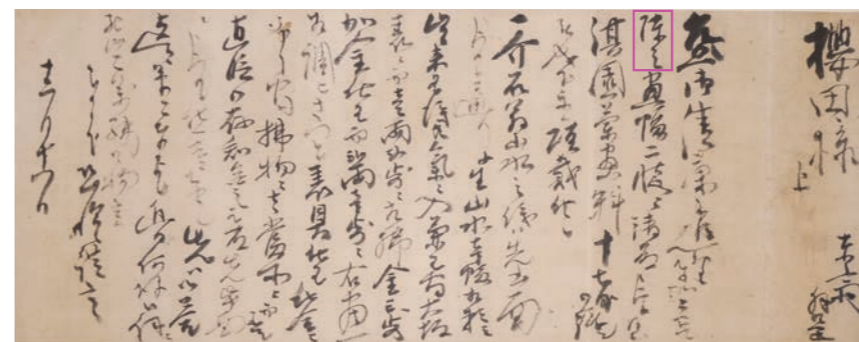
→陳
→者

読み方
陳者
のぶれ
は

意味
さ
さて

現在でも手紙を書く時は、時候のあいさつで始め、その後に本題に入ります。このフレーズは、その話題転換の時に使われていたもので、「申し上げます」とも訳されます。「陳」は「述」と同じ意味を持つ漢字で、「者」は「は(ば)」と読み、仮名文字として使われています。

幕末の手紙などで頻繁に使用されるようになり、明治時代くらいまで用いられた表現なので、この梅関の手紙での使用は古い例と言えます。



菅井梅関(東齋)書状 桜田澹齋宛 12月11日
菊田コレクション 仙台市博物館蔵

これ、なあに?

道具でのぞく博物館

博物館が使っている道具を通して、博物館の仕事のぞいてみませんか。今回は資料を守るために使われる道具を紹介します。



文化財の収蔵環境管理用品

文化財を後世に伝えるためには、適切な収蔵環境を保つ必要があります。今回は、収蔵環境を維持管理するために当館で使用している道具の一部を紹介します。

歩行虫トラップ

文化財に害を与える虫が館内に入り込んでいないか確認するための捕獲器。虫を誘き寄せ効果はなく、トラップの中を通り抜けようとする虫を粘着面で捕獲します。



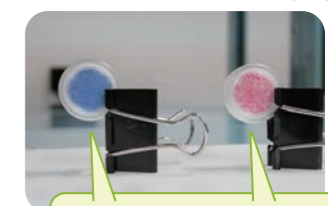
粘着マット

足元の塵や埃を除去できるよう、表面が粘着フィルムになっているマット。収蔵場所の入り口に設置します。入り口を通る人は収蔵場所の清浄を保つため、履物等に付いた汚れをマットの上で落とします。



パッシブインジケータ

文化財を保管・展示する場所で文化財に有害なガスが発生していないか、確認するための計測器。特定のガスに反応して変色します。



守る!休館中のミッション -資料保存-



特別に作った箱に陣羽織を入れ、温度調整ができる、文化財専用のトラックで運びました。車内で箱が動かないようにベルトを使ってしっかりと固定します。



染織品の修復家の手で修復前の詳細な状態を調査します。

水玉模様陣羽織修復報告!

文化財を永く保存するため、修理を行うことは博物館の大切な仕事のひとつです。その一例をご紹介します。



修復に使う糸は特製で、使用する部分によって太さが異なります。この後、布地の色に合わせて特別な方法で染められます。